

国道401号博士峠工区について



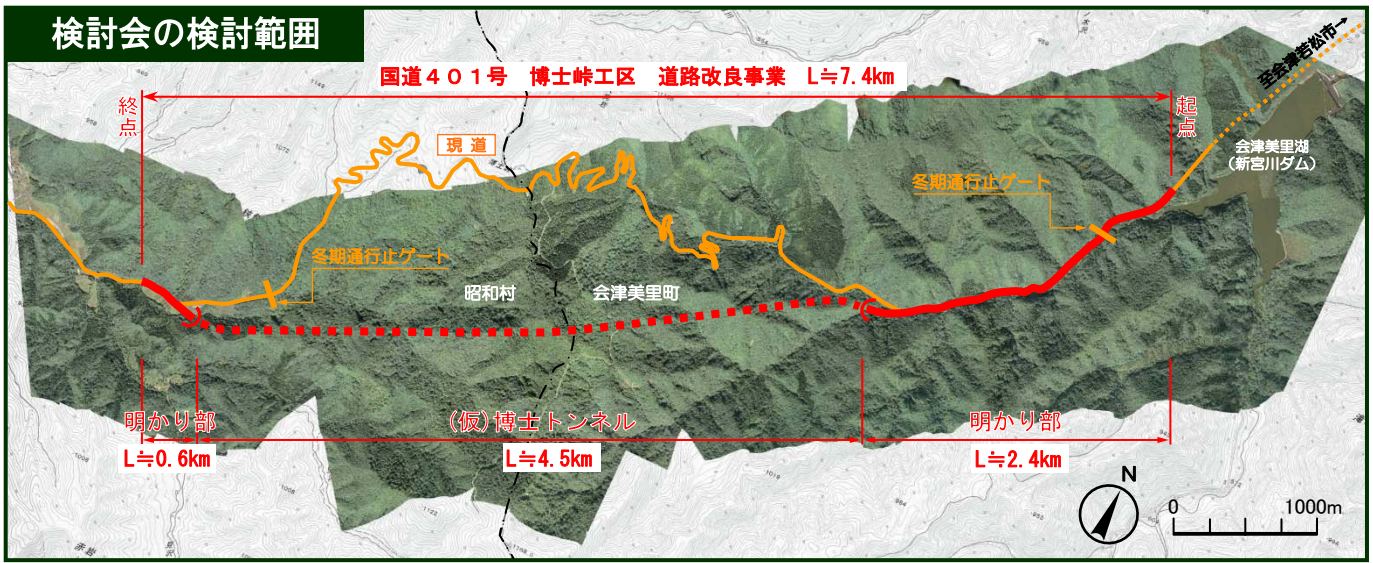
現在県では、会津美里町と昭和村を結ぶ国道401号博士峠工区の道路整備を進めております。この道路が出来ることにより、次のようなことが期待されます。

- ① 県土連携軸交流ネットワーク基盤強化道路として位置付け、県土の骨格となる6本の連携軸の会津軸と南部軸の連携機能を担います。
- ② 冬期間の通行止めを解消し、昭和村から第3次救急医療施設(会津中央病院)へのアクセス向上を図ります。

第3回「国道401号博士峠工区道路環境検討会」を開催しました

【日時】平成28年12月14日(水) 13:30~16:00 【場所】会津若松合同庁舎新館2階会議室

本道路は、この地に恵まれてきた豊かな自然を有する地域を通過することから、設計、工事を進めるにあたり、自然環境へ与える影響について十分配慮する必要があると考えております。そのため、動植物などの専門家により技術的な検討を行うことを目的として、会津美里町宮川地内から昭和村小野川地内までの約7.4kmの区間を対象にした環境検討会を開催しました。



検討会を構成する動物、植物、景観、などを専門とする委員の方々

	所属	氏名	専門分野
座長	一般社団法人東北地域環境計画研究会会長	由井 正敏	鳥類・猛禽類・哺乳類
委員	国立研究開発法人国立環境研究所主任研究員	上野 隆平	魚類・底生生物
委員	福島県立大沼高等学校教諭	菅原 宏理	両生類・爬虫類
委員	日本大学工学部准教授	知野 泰明	景観等
委員	福島虫の会	角田 伊一	昆虫類
委員	日本植物分類学会、日本シダの会	蓮沼 憲二	植物

※ 敬称略、委員については五十音順です。



検討会の結果概要

今回開催した検討会において、委員の方々の主な意見は以下のとおりでした

■ 希少動植物の保全対策、景観配慮について

● 猛禽類

- ・希少猛禽類は今後もモニタリング調査を継続し、生息状況や対策の効果を確認すること。
- ・希少猛禽類が敏感な時期はコンディショニングの実施や、騒音の小さい工種への変更といった対応が必要である。

● 魚類・底生生物

- ・希少魚類、希少底生生物の保全対策として、工事中、供用中の水質保全に留意すること。

● 両生類・爬虫類

- ・希少両生類・希少爬虫類の保全対策として、這い出し可能な側溝、柵の設置を検討すること。

● 昆虫類

- ・希少昆虫類の保全対策として、土捨て場を新たに選定する場合は十分留意すること。

● 植物

- ・希少植物の群生地近傍の工事にあたっては、生息環境の保全に十分留意して工事を行うこと。

● 景観

- ・景観に配慮した道路施設の配色について、周辺地域の事例との整合を図ること。
- ・トンネル坑口については、安全性に配慮した形状を検討すること。

■ 今後の検討会の予定について

- 工事中のモニタリング状況については、各委員へ個別ヒアリングを実施し、必要に応じて第4回検討会を行う。
- 工事完了後の1年を目安に、モニタリングを実施し、これらの結果について最終の検討会でとりまとめる。

国道401号博士峠工区道路についてのお問い合わせは・・・

福島県会津若松建設事務所 事業部 道路課

〒965-8501 福島県会津若松市追手町 7-5

TEL.0242-29-5430 FAX.0242-29-5459

E-mail wakamatsu.ken@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41340a/>